

原料費調整制度に基づく2019年8月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、2019年3月から2019年5月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○2019年8月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1ヵ月のご使用量	基本料金 (1ヵ月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			2019年7月検針分	2019年8月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	198.83 円	196.50 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	189.53 円	187.20 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	180.39 円	178.06 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

2019年3月から2019年5月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	57,370 円/トン(10円未満四捨五入)
2019年3月から2019年5月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	56,750 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $57,370 \text{ 円/トン} \times 0.9771 + 56,750 \text{ 円/トン} \times 0.0474$	58,750 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	$58,750 \text{ 円} - 38,910 \text{ 円} = \underline{19,800 \text{ 円/トン}}$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
2019年8月分検針の調整額(1m ³ あたり)	$19,800 \text{ 円} \times 0.077 \text{ 円} \div 100 \times 1.08 = \underline{16.46 \text{ 円}}$ (税込) (小数点第3位切り捨て)
2019年7月分検針の調整額(1m ³ あたり)	18.79 円(税込)
(8月分)対(7月分)増減(1m ³ あたり)	<u>-2.33 円(税込)</u>

2019年8月分の単位料金を1m³あたり +16.46円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1ヵ月のご使用量	2019年7月分料金	2019年8月分料金	影響額
20m ³	4,665円	4,618円	-47円